

平成29年度の取組に対する内部評価結果 別紙資料

区分	項目	具体的な取組	KPI	平成29年度の取組結果	評価		
収支状況の改善に向けた取組	収益関連の取組	患者数増加施策	・ 紹介経由の入院患者の増加に取り組むため、地域の医療機関との連携を強化し、院内における紹介患者の受入体制を改善	紹介率、逆紹介率ともに平成32年度までに70%を達成	<p>・平成29年度実績(紹介率):69.0%</p> <p>(平成30年3月、紹介状持参患者からの電話予約を開始するとともに、地域に開放する地域紹介枠の設定を実施した。)</p> <p>・平成29年度実績(逆紹介率):71.7%</p> <p>(逆紹介を推進するため、チラシ(ポスター)を作成し、患者に配布するとともに院内に掲示した。)</p>	○	
			・ 救急経由の入院患者の増加に取り組むため、引き続き、「断らない救急」の方針のもと、地域の救急医療を牽引	年間救急搬送人数を平成32年度までに5,993件を達成	平成29年度実績:5,863人	(救急患者の受入に努め、平成28年度と比べ157人増加した。)	○
		単価適正化施策	・ 保険請求の実態を検証し、医師への情報提供を始めとした査定率の改善に向けた業務フローの見直し	査定率を平成32年度までに0.2%へ削減	平成29年度実績:0.3%	(保険請求前のシステム点検強化や会計の誤入力について医療事務委託業者との連携を強化した。)	○
			・ 新たな施設基準による加算取得の検討	毎年度において、認定看護師等による加算取得の実績を1件以上達成	平成29年度実績:1件	(患者サポート体制充実加算を取得した。)	○
		未収金抑制施策	・ 未収金の発生抑制と早期回収に向けた未収金回収フローの見直し	毎年度において、前年度患者負担未収金残高を基準日(8月31日時点)と比較し10%削減	平成29年度実績:約34%の削減	(未収台帳を整備し、請求連絡から催促、督促の流れをルーチン化した。)	○
	費用関連の取組	材料費の削減策	・ 安全性を考慮したうえでの後発医薬品の使用促進 ・ 同種・同効品の絞り込みや医薬品の価格交渉を通じた単価引き下げ	<p>・後発医薬品の使用割合について、平成31年度までに80%を達成</p> <p>・毎年度において、価格交渉により各年度当初の契約単価からの値引き額合計を1,000万円以上削減</p>	<p>・平成29年度実績(後発医薬品):80.8%</p> <p>(病院幹部から職員に対して後発医薬品の積極採用に係る意識づけを行うとともに、薬剤科においては安全性や品質確保の観点から後発医薬品に変更可能な先発医薬品の候補を抽出して薬事委員会に情報提供し、積極的な切り替えを図った。)</p> <p>・平成29年度実績(値引き合計):約2,700万円</p> <p>(病院幹部医師や薬剤科部長も参加して、全国自治体病院協議会の作成するベンチマークを活用し、年度中に2回の価格交渉を実施した。)</p>	○	
			・ 同種・同効品の絞り込みや診療材料の価格交渉を通じた単価引き下げ	毎年度において、価格交渉により各年度当初の契約単価からの値引き額合計を1,000万円以上削減	平成29年度実績:約800万円	(SPDによる価格交渉を年度中に1回実施したが、業者切り替えのタイミングと重なったこともあり、効果額が不十分となった。平成30年度は年度開始からSPD主体での価格交渉を実施するとともに、医師、看護師の協力を得た価格交渉を実施する。)	×
		経費の削減策	・ 定期的な支出内容の見直し	毎年度において、支出内容の見直し及び削減実績を1件以上実施	平成29年度実績:4件(▲約6,000万円)	(「医師賠償責任保険契約額の見直し(▲約2,000万円)」、「基本構想を直営で作成したことで委託費ゼロ(▲約800万円)」、「医療機器保守契約の見直し(▲約2,600万円)」、「借上げ医師住宅の見直し(▲約670万円)」)	○
			・ 委託内容、範囲及び契約方法の見直し	委託費金額の総額を平成32年度までに平成27年度対比で5,000万円削減	平成29年度実績:人件費の高騰により約1億2,000万円の支出増	(各業務の現場に関わる複数の職員にヒアリングを実施し、仕様書が業務の現状に合っていない部分を洗い出したが、余裕を持ったスケジュールで作業を行えなかった。次期契約改定時においては、仕様書を早期に見直し、余裕を持ったスケジュールで契約事務を執行し、受託可能性のある業者が競争できる環境を整える。)	×
		その他の取組	・ 職員に対する経営情報の公開と共有化の推進	毎年度において、病院職員向けの経営情報の共有実績を1回以上達成	平成29年度実績:2回	(経営戦略委員会、各診療科別ディスカッションにおいて、経営状況の報告を行った。)	○
	・ 各診療科・部署における年度目標の設定と評価		毎年度において、各診療科・部署における年度目標及び評価実績を1回以上達成	平成29年度実績:1回	(各診療科別ディスカッションにおいて、業務実績の振り返り、今後の展望等について議論を行った。)	○	

平成29年度の取組に対する内部評価結果 別紙資料

区分	項目	具体的な取組	KPI	平成29年度の取組結果	評価
人材の確保・育成 に向けた取組	人材の確保に向けた取組	・ 医師、看護師、医療技術職員の勤務環境の整備	職員勤務環境実態調査(隔年)を実施するとともに、毎年度において改善実績を1件以上達成	平成29年度実績: 調査を1回実施、改善実績0件 (「職員満足度調査」を実施し、職員の満足・不満足とその優先順位を分野別に調査を行った。平成29年度中の改善はできなかったが、平成30年度4月より、女性医師が多い産婦人科などからの要望を受け、勤務環境が許せば科部長の判断で医師の当直前後の職務を免除する制度を設けた。)	▲
		・ 看護師等奨学金制度の充実	毎年度において、奨学生を60人以上確保し、奨学生の当院就職率100%を達成	平成29年度実績(奨学生人数): 38人 平成29年度実績(就職率): 100% (年度中に2回の奨学生採用試験を実施し、16名を奨学生として貸付を開始した。今後はアンケートを実施する等、より満足度の高い奨学金制度となるよう引き続き努めていく。)	×
	人材の育成に向けた取組	・ 医師、看護師、医療技術職員及び事務職員の専門能力の向上に資する職場外における研修の充実	毎年度において、各科における研修計画書を作成し、この計画に基づく研修の実施率100%を達成	平成29年度実績: 数値化不可 (各部署の年間研修計画の策定は難しいため、研修の効果をより広く病院職員に還元する方法等について検討した。今後は研修受講者から所属委員会へ報告を行ったり、個別に報告会を行ったりする等の取組を進める。)	×
		・ 専門的な知識を有するプロパーの事務職員の採用検討	平成32年度までにプロパー事務職員の採用実績1人以上を達成	平成29年度実績: 0人 (これまで臨時職員が対応していた職種について、正規職員化すべきか検討し、診療情報管理士、医療社会福祉士の正規職員を採用することを決定した。)	▲
建物設備の更新 に向けた取組	建物設備に関する取組	・ 維持修繕計画に基づく既存建物の整備	毎年度において、維持修繕計画に基づく整備の実施率100%を達成	平成29年度実績: 100% (平成29年度は非常用発電機自動始動盤の更新工事等を行った。今後は、病院再整備の進捗を踏まえ、現施設の状況の変化に注視しながら、適宜維持修繕計画の見直しを行う。)	○
		・ 医療機器の更新計画の策定	毎年度において、医療機器更新計画に基づく整備の実施率100%を達成	平成29年度実績: 100% (医療機器の中でも特に高額なものについて、病院再整備までの導入計画を策定しており、これに基づき購入を進めた。計画については、適宜見直しを行う。)	○
		・ 病院の建替計画の策定	毎年度において、小田原市総合計画実施計画に基づく取組の実施率100%を達成	平成29年度実績: 100% (平成30年度に市立病院再整備基本構想を策定するための準備(条例改正、規則制定、委員の選定等)を行った。)	○